

明星っ子こども園 令和7年度 年間指導計画 0歳児（ぴよぴよ組）

<p>年間目標</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●落ち着いた雰囲気の中で欲求を満たし、情緒の安定を図りながら、一人一人の豊かな個性を育み、信頼関係、愛着関係を育てる。 ●個人差に留意しながら離乳の完了や歩行、発語への意欲を育む。 ●保健的で安全な環境の中で伸び伸びと遊び、いろいろな体験を重ねて、感覚の発達を豊かにし、身の回りの物事へ興味、関心がもてるようにする。 	<p>健康安全災害</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●視診・触診・検温は毎日行い、健康的に過ごすために感染症の早期発見、予防に努める。 ●施設内の環境整備を行う ●危機管理マニュアルの確認 ●乳幼児突然死症候群の予防 	<p>一年間の保育に対する自己評価</p>	<p>園児3人でスタートしたがその後徐々に増えたため涙や不安感を感じることが多くなった。「保育者がいたがバタせず気持ちにゆとりを持ち笑顔で楽しめるように」と担任間で確認し合いながら保育をしてきたことで、友達同士、遊びで繋がりが笑い合える時間も増えた。お友だちに憧れる気持ちや、やってみたいという気持ちを育てるように保育をおこなってきた。</p>
--------------------	--	----------------------	---	------------------------------	--

*0歳児クラスの教育は、乳児は三つの視点、満1歳からは5領域で捉える。

ねらい (養護・保育)	1期(4月～5月)			2期(6月～8月)			3期(9月～12月)			4期(1月～3月)																																								
<p>園児の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●一人一人の生活リズムを大切に、保護者と連携しながら新しい環境に慣れるようにする。 ●保育教諭等にあやされたり、守られながら安心感を得ることで、信頼関係を築いていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●快適に過ごせるよう、保健衛生面に配慮しながら、一人一人の体調を把握し、沐浴・水遊びを行う。 ●信頼する保育教諭等に欲求を受け止め、満たしてもらいながら情緒の安定を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ●気候に応じた戸外遊びや散歩を多く取り入れ、自然に触れて遊び、体を動かす楽しさを感じる。 ●保育教諭等や他の園児との関わりを喜び、安心できる環境の中で自分の欲求を喃語(ルビなんご)などで表そうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●気温の変化で体調を崩さないよう、室内の温度管理や服装の調整など行う。 ●安心感を土台に他児への関心をはぐくみ、あそぶ意欲へとつながる。 	<p>57日～3か月未満</p>	<p>3か月～6か月未満</p>	<p>6か月～9か月未満</p>	<p>9か月～12か月未満</p>	<p>1歳～1歳3か月未満</p>	<p>1歳3か月～2歳未満</p>	<p>園児の姿</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●目の前のものを覗いたり、音のする方を見たりする。 ●睡眠と目覚めを繰り返すが、次第に目覚める時間が長くなる。 ●快と不快を感じ分けよう力が芽生え、空腹になったり、おむつが濡れると泣くが、対応してもらおうと気持ちよさそうに泣き止む。 ●手足を生き生きと動かして遊び、顔の向きを自分で変えるようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●昼夜の区別がつくようになり、昼に起きていて時間が長くなる。 ●首がすわり、手助けをすれば自分で寝返りができるようになり、やがて自分で寝返りを始める。 ●腹ばいになると背筋を伸ばして頭を上げ、少しの間、手で体を支えるようになる。 ●機嫌がよい時は声を出して遊んだり、あやされる声に応じて声を出す。 	<ul style="list-style-type: none"> ●離乳食を食べ始める(初期食)。 ●いろいろな味や舌触りに慣れ、もぐもぐして飲み込む(中期食)。 ●人見知りが始まり、後追いが激しくなる。 ●ずり這い・四つ這い等で移動する。 ●お座りが安定し、座った状態で玩具を持って遊ぶ。 ●自由に寝返りをし、腹這いで前後に進むようになる。 ●声出しが盛んになり、声を出して大人を呼ぶようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●食べることに意欲的になり、こぼしながらも手づかみや指つまみで自分で食べようとする。舌や歯茎を使ってすりつぶして食べる(後期食)。 ●ずり這い・四つ這い等で移動する。 ●つかまり立ちや伝い歩きなど歩行への意欲と活動が活発になる。 ●指差しや喃語で意思を伝えようとする意欲が表れる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●歯茎や乳歯を使って噛んで食べる(幼児食)。 ●伝い歩きから一人歩きができるようになり、行動範囲が広がり、興味の幅も広がる。 ●つまむ・叩く・引っ張るなど、手や指を使って遊ぶ。 ●「ママ」「プー」など意味のある言葉を言うようになる。 	<ul style="list-style-type: none"> ●一人歩きが安定し、小走りで歩いたり、段差のあるところを歩いたり、跳び下りするなど、上下の運動に挑戦する。 ●手の細かいコントロールが進み、積み木を積んだり、なぐり描きが点から曲線になる。 ●感情表現が豊かになり、自分の欲求を通そうとする。 ●他の園児へ関心を示し、持っているものを欲しがったり触ろうとする。 	<p>養護 (生命の保持・情緒の安定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■不快を感じる状態を常に確認・改善し、衛生面に配慮する。 ■一人一人の生活に応じて、安心して過ごせるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の生活リズムを把握し、安定させていく。 ■泣き声や語らいに対応してもらい、愛着関係を深めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の発達状態に合わせ、離乳食の開始や内容を検討する。 ●睡眠リズムの変化に対応して、活動時間や内容を調整する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人に合わせて、スプーンや手づかみで食べることを経験できるようにする。 ■特定の大人と愛着関係を築いたうえで好奇心を満たしていく。 	<p>養護 (生命の保持・情緒の安定)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■食後は手や口元をお絞りで拭いたり、口の中に食べ物が残らないよう水分を摂り、口をゆすぐ。 ■言葉に優しく応え、安心感を味わえるようにする。 	<p>教育 (三つの視点)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★大人の声に反応し、意識が向く。 ★安心できる環境の中で、大人に抱かれ、心地よさを感じる。 ★ゆっくりと動く物を注視する。 	<ul style="list-style-type: none"> ★体を動かしたり、動かしてもらうことを喜ぶ。 ★音の出る玩具や柔らかな素材の物に興味を持ち、手を伸ばそうとする。 	<ul style="list-style-type: none"> ★身近な保育教諭等に親しみを強くもち、同時に他の大人にも関心をもつ。 ★安心できる環境の中で体を動かして遊ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ★興味をもったものに視線を向けたり、指差しをし言葉と一致させようとする。 ★歌や音楽に興味を持ち、リズムに合わせて体を動かして遊ぶ。 	<p>教育 (5領域)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ★指先を使った細かい動きを楽しむ。 ★特定の保育士等と喃語や言葉のやり取りを楽しむ。 	<p>環境構成 ★援助・配慮</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■一人一人の生活リズムに応じて、ゆったりとした暖かい雰囲気の中で過ごすようにする。 ■室温や湿度に配慮して必要な寝具を用意し、落ち着いた環境の中で眠れるようにする。 ★授乳やおむつ交換は優しく声をかけ触れ合うことで、心地よさを感じられるようにする。 ★睡眠中も顔色や呼吸をチェックし、変化を見逃さないようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■寝返りやうつぶせの姿勢の時には顔がふさがれないよう、柔らか過ぎない床面であることを確認する。 ■興味を引く玩具などは注視や体の動きを促すように見せる。 ★常に安全な環境が整っているか確認・改善を行う。 ★手足の動きや体の動き等、必要な補助を行いながら運動機能の発達を促す。 	<ul style="list-style-type: none"> ■活動範囲の広がりに伴い、安全面や衛生面に留意し、活動しやすい環境を整える。 ■活動意欲を引き出すような玩具を準備し、配置を工夫したり、楽しく遊べるようにする。 ★甘えや不安・欲求をその都度受け止め、安定した気持ちで過ごせるようにする。 ★安心して、落ち着いた雰囲気の中で授乳を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ■興味や発達に合わせて子どもの好奇心や探索行動が満たされるように環境を整える。 ■じっくり楽しめる玩具や環境を設定し、一人遊びが十分にできるようにする。 ★手遊びや絵本などゆったり遊べる環境の中で保育教諭等と楽しさを共有し、喜びを感じられるようにする。 ★心地よさや楽しさが感じられるように、保育教諭等は声の出し方や動き方を考慮する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■伝い歩きや一人歩き等歩くことが楽しくなり、行動範囲が広がるので、保育室だけでなく他の場所でも伸び伸びと遊べるようにする。 ■保育教諭等がスキンシップを取りながら揺らしたり、姿勢を変化させる。 ★運動遊びは子どもの機嫌や体調のよい時に行う。 ★子どもの指差しには一つ一つ言葉をかけて受け止め、関心が深められるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■自分でやりたい気持ちが十分に満たされるような環境を整えることで、満足感が得られるようにする。 ■一人遊びでも他の園児が視界に入るよう、同じ空間で行う。 ★他の園児との関わりにも、より関心が持てるよう必要な仲立ちをしていく。 ★子どもの気持ちを言葉にして返したり、共感することで言葉を広げていく。 	<p>子育ての支援 (保護者支援)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●子どもの様子を丁寧に伝えながら、保護者との信頼関係を築き、共通の思いで子育てを楽しめるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●健康状態とともに感染症の流行など周囲の状況を伝え、感染症の早期発見や拡大防止について理解・対応ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●離乳食の進み具合を聞き取り、園での食事状態を伝えながら、同じ援助ができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●園の安全対策を伝え、家庭での環境の見直しの材料となるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自我の芽生えは成長の大切な一つだということや伝え、悩みをしっかりと受け止めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ●自分でできた満足感が意欲につながることを伝え、身の回りのことなど自ら取り組む意欲をさりげなく援助するなど関わり方を伝える。 	<p>園行事 及び園事業</p>	<p>1期(4月～5月)</p> <p>入園・進級式／個人懇談／クラス懇談会／園庭開放／誕生日会／弁当日／乳児保育参加／身体測定／さくら組懇談会／年長お泊り保育／乳児等通園支援事業／親子子育て相談</p>	<p>2期(6月～8月)</p> <p>園庭開放／誕生日会／内科検診／歯科検診／プール開き／七夕まつり／プール大会／弁当日／身体測定／乳児等通園支援事業／親子子育て相談</p>	<p>3期(9月～12月)</p> <p>幼児クラス懇談会／個人懇談／誕生日会／内科検診／歯科検診／園庭開放／運動会／年長園児大会／芋ほり／さんま大会／生活発表会／クリスマス会／クリスマス会(地域における公益的な取り組み)／弁当日／環境教育／身体測定／乳児等通園支援事業／親子子育て相談</p>	<p>4期(1月～3月)</p> <p>個人懇談／幼児クラス懇談会／誕生日会／園庭開放／節分／絵画展／うめ・さくら組お泊り保育／お別れ会／新入園児説明会／卒園式／弁当日／身体測定／交通安全教育／消防教育／乳児等通園支援事業／親子子育て相談</p>